EDGE Vol.48
2018.10.25

アジア太平洋ディスレクシア フェスティバル2018

みんなの個性が活きる社会を

豪華講師陣、 最新の情報、 目からうろこの体験

日時：12月9日（日）10時から19時
場所：代々木国立オリンピック記念青少年総合センター　センター棟
対象：教員、研究者、保護者、本人、支援者他一般
参加費：事前登録
18歳以下　無料
保護者、19歳以上の本人、学生　1000円
そのほか：3000円
当日参加の場合は金額が変わります。
言語：日英通訳あり

アジア太平洋ディスレクシア・フェスティバル

または右のQRコードから

プログラム

●シンポジウム

1）最前線からディスレクシアへの合理的な配慮について
2）アジア太平洋から活躍しているディスレクシアの人たちがサバイバルの秘訣を伝授します
3）ユネスコとのコラボ企画
ハッピースクール＆ティーチャートレーニング
★ハッピースクール☆オーストラリアでの実践（校長がディスレクシアです！）
★教員のためのインクルーシブ教育のためのツールキット出版記念企画☆ユネスコバンコクから

●ブース展示

アセスメントから効果的な支援へ
脳科学、アセスメント、支援ツールの数々を体験できます

●ワークショップ

アナログゲーム、ディスレクシアセミナー、疑似体験、DX会（成人ディスレクシアの会）
デジタル絵画展

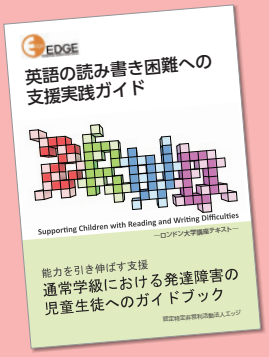
活　動（2018年）

8月	18日	第79回DX会
9月	1日	第4回DX会サバイバル
	22日	第38回ディスクシアセミナー
	29日	LSA講座（合理的な配慮とは）
10月	13日	第80回DX会
	20日	第39回ディスレクシアセミナー
	21日	MOOC日本語講座
10月	28日	LSA講座（現場での支援）
11月	3日	第5回DX会サバイバル
	17日	LSA講座（実践サポート1）
	18日	第40回ディスレクシアセミナー
12月	9日	アジアパシフィックフェスティバル
	15日	LSA講座（実践サポート2）
	26.27.28日	ジョリーフォニックス講座

EDGE

MOOCの英語コース

ＭＯＯＣ英語コースは、東京、新潟、島根の拠点ごとに学習会を開催していますが、今回島根では、島根大学にて第 1 回の勉強会を実施しました。新聞にも取り上げられ大変盛況で、小中高の先生方を中心に、保護者、関係者等多数の参加があり、熱心な質疑応答がかわされました。



《日本財団助成事業》

Jammin

ファッション企業の Jammin とのコラボで素晴らしいデザインの T シャツ類ができました。7 月に一週間にわたりキャンペーンを張り、多くの方から応援をいただきました。ディスレクシアの人たちの強みである CREATIVE を前面に出したデザインです。

MOOCの日本語コース

日本語の読み書きの困難さへの支援
e-learning コース

3 月開講を目指して鋭意編纂中
竹田契一先生、宇野彰先生、安藤壽子先生、小林マヤ先生、安部正昭先生、高松崇先生、上條大志先生
ディスレクシアの専門家、実務家が勢ぞろいして、支援の心得から教室作り、個への支援や合理的な配慮まで網羅した講座を構築中です。

《日本財団助成事業》

BEAM（音声教材）

文科省主催音声教材普及推進会議が東京で開催され音声教材ｂｅａｍが紹介されました。音だけの良さを理解してもらえ、電子辞書や音声ペンなど入れる媒体の多さも反響がありました。今後も全国を回って普及に努めたいと思います。

《文部科学省委託事業》

の活動 (http://www.npo-edge.jp)

LSA養成講座

7 月 29 日に 2018 年度の LSA 養成講座が始まりました。第 1 回目は、台風の影響で足元の悪い中、多くの方にご参加頂きました。最先端の内容を学べるライブ講座は 12 月まで毎月開催しています。是非、この機会に受講をご検討ください。

DXセミナー

まずは、お子さんが発達障害かどうかより、苦手なことの背景要因に注目することが大切です。そして、お子さんに合った、効果的な方法を探してみましょう。お子さんの好きな活動や何か夢中になれることはありますか？興味関心があることを活用して、長い人生の中で取り組めることは、きっとあるはずです。保護者、支援者、教員、本人などみなさんがホッとしてお帰りになります。

ジョリーフォニックス講座の今後

2019 年度は「初めてのジョリーフォニックス」だけでなく、過去の受講生を対象にした復習講座も企画。受講生全員が簡易アセスメントを受けることで、それぞれの特性や困難さを理解し、レッスンに繋げていきます。

DX会

会も 14 年目に入り、恒例行事として定着してきました。8 月の第 79 回 DX 会は近隣の山で、絵具の材料を拾いました。9 月の第 4 回 DX 会サバイバルは参加者の得意な面を探しました。詳しくはエッジのブログで。ご参加をお待ちしています。

Report from the

ディスレクシア（Dyslexia）とは……
知的には問題がなく、聴覚、視覚の知覚的機能は正常なのに、
読み書きに関して特徴のあるつまづきや学習の困難を示す症状のことをいいます。
EDGE は…
ディスレクシアの正しい認識の普及と教育的な支援を目的とした
特定非営利活動法人（NPO）として、2001 年 10 月に設立・認定され、活動しています。

ディスレクシアでも大丈夫！
●上野一彦先生序文
困難を乗り越える知恵と工夫、どのように能力が開花していくかが見事に示されている
読み書きの困難とステキな可能性　藤堂 栄子 著　本体1600円

ディスレクシアでも活躍できる
自分らしく働き
自分らしく生きるを
目指して！　本体1600円
読み書きが困難な人の働き方ガイド
藤堂 栄子 編著
NPO法人 エッジ 著

図書出版 ぶどう社
東京都世田谷区上馬2-26-6-203
TEL 03-5779-3844　FAX 03-3414-3911
http://www.budousha.co.jp　送料無料

●自分らしく働き続けるために大切なこと

柘植雅義 監修　ハンディシリーズ 発達障害支援・特別支援教育ナビ
発達障害のある人の就労支援
梅永雄二 編著　A5判・104頁　本体 1,300円＋税

決定版！
授業のユニバーサルデザインと合理的配慮
子どもたちが安心して学べる授業づくり・学級づくりのワザ
阿部利彦 編著　A5判・200頁　本体 1,900円＋税

〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-7　金子書房　☎03-3941-0111代　FAX 03-3941-0163
URL http://www.kanekoshobo.co.jp

アポーグループは認定 NPO 法人 EDGE の活動を支援しています。

ディスレクシア募金のお願い

日ごろより、認定 NPO 法人エッジの活動にご賛同いただきありがとうございます。2016 年、2017 年のアジア太平洋地域ディスレクシアフェスティバル＆シンポジウムに引き続き本年 12 月に第 3 回目を開催いたします。1 回目 2 回目ともおかげさまで大変盛況となり、当初の目的であるアジア太平洋地域のディスレクシアの人たちが一堂に集まり共通の課題に取り組むことができ、啓発にも大いに役立ちました。
2020 年に岡山で開催されます APDF（Asia Pacific Dyslexia Forum）に向けて大きな一歩となりました。今後も毎年規模は小さくとも同様の試みを続けたいと思います。つきましては活動への応援の形として下記までご寄付をお願いいたします。
せっかく、動き始めた機運に勢いをつけ、日本およびアジア太平洋地域のディスレクシアおよびすべての人が良質の教育を受けられるようにお力添えをお願いいたします。

認定 NPO 法人エッジ　藤堂栄子

●ゆうちょ銀行 口座　00190 － 2 － 86061　NPO EDGE
●三菱東京ＵＦＪ銀行六本木支店　普通　1598588
EDGE- Ⅱ 特定非営利活動法人エッジ
●または http://www.npo-edge.jp/about/support-us/

※本紙の本文はディスレクシアの方々がわかりやすく読みやすいUDデジタル教科書体を使用しております

EDGE48号　2018年10月25日発行／発行 認定NPO法人エッジ
東京都港区芝3-6-5 KS芝公園ビルⅡ／Tel.03-6435-0402／http://www.npo-edge.jp／E-mail：edgewebinfo@npo-edge.jp／制作 株式会社信英堂